

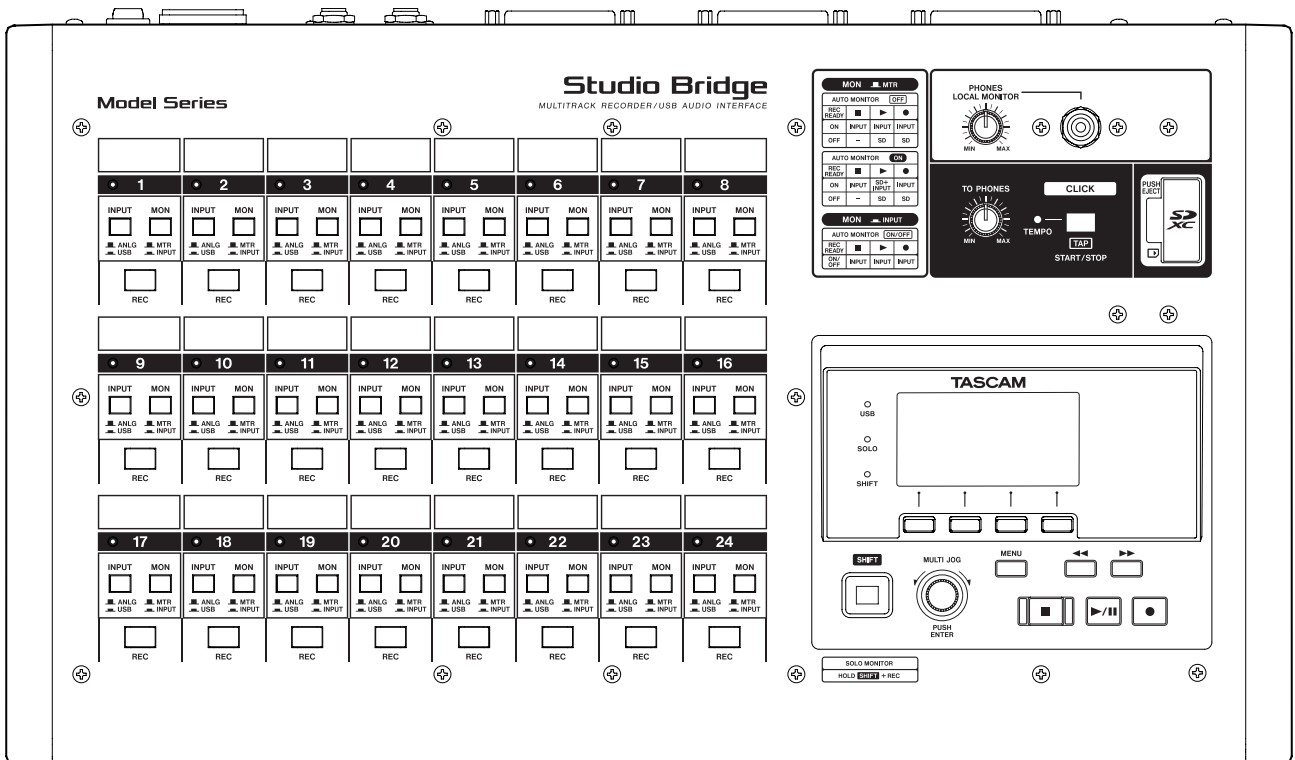
TASCAM

Model Series

Studio Bridge

Multitrack Recorder

Studio Bridge DAWコントロールモードマニュアル



目次

はじめに	2
概要	2
商標および著作権に関して	2
Studio Bridge本体の操作	3
本体の準備	3
パソコンと接続する	3
DAWコントロールモードを開始する	3
DAWコントロールモードを終了する	3
パソコンへ送られる音声の設定	3
DAWコントロールで使用する本体操作子	4
各種DAWアプリケーションの設定	5
Live	5
コントロールできる操作子	6
Pro Tools	7
コントロールできる操作子	7
Cubase	8
コントロールできる操作子	9
Cakewalk	10
コントロールできる操作子	11
Logic Pro	12
コントロールできる操作子	13
DP (Digital Performer)	14
コントロールできる操作子	14
Cubasis	15
コントロールできる操作子	15
Studio One	16
コントロールできる操作子	17
REAPER	18
コントロールできる操作子	19
MIDIインプリメンテーションチャート	20
MIDIインプリメンテーションチャート DAW Controlポート	20

概要

Studio BridgeはDAWコントロール機能を備えており、DAWコントロールモードに設定することで、DAWアプリケーションの基本的な動作（REC READYの操作、PLAY / STOPなどのトランスポート操作、など）をStudio Bridge本体の操作子を使って操作することができます。

Mackie Control (MCU) およびHUIプロトコルのエミュレーションに対応しているため、主要なDAWアプリケーション（Cubase、Digital Performer、Logic、Live、Pro Tools、Cakewalkなど）の操作が可能です。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Apple and Mac are trademarks of Apple Inc. in the United States and other countries.
- Avid and Pro Tools are either registered trademarks or trademarks of Avid Technology, Inc. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.
- Cubase are registered trademarks of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Cakewalk is a registered trademark are trademarks of BandLab Technologies Inc.
- MIDIは、一般社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

本体の準備

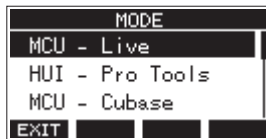
パソコンと接続する

Studio Bridgeの取扱説明書「第4章 準備」の「パソコンと接続する」を参照して、パソコンと接続してください。

また、第13章「USBオーディオインターフェイス」を参照し、設定を行ってください。

DAWコントロールモードを開始する

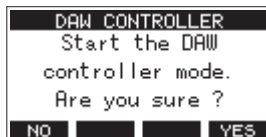
1. 本体のレコーダーが停止中に MENU 画面の DAW CONTROLLER 項目を選択し、MODE 画面を表示します。
操作方法については、取扱説明書「第3章 各部の名称と働き」の「メニュー操作の手順」を参照ください。



2. お使いのDAWで使用するコントロールモードを選択します。
設定の詳細は、お使いのDAWアプリケーションの取扱説明書をご参照ください。

選択肢：MCU - Live、
HUI - Pro Tools、
MCU - Cubase、
MCU - Cakewalk、
MCU - Logic、
MCU - DP、
MCU - Reaper、
MCU - Studio One、
MCU - Cubasis

3. MULTI JOGダイヤルを押します。
確認のメッセージが表示されます。



メモ

F1 NO ボタンを押すと、MODE 画面に戻ります。

4. **F4 YES** ボタンを押します。
DAW CONTROLLER 画面が表示され、DAW操作が可能になります。



(MCU - Liveを選択した場合の画面の例)

メモ

DAWコントロールモードのまま電源を切ると、次回起動時もDAWコントロールモードで開始されます。通常モードで使用する場合は**F1 EXIT** ボタンでDAWコントロールモードを終了してください。

DAWコントロールモードを終了する

1. **F1 EXIT** ボタンを押すと、以下のメッセージを表示します。



2. **F4 YES** ボタンをして、DAWコントロールを終了します。

パソコンへ送られる音声の設定

パソコンへ送られる音声は常にアナログ入力です。

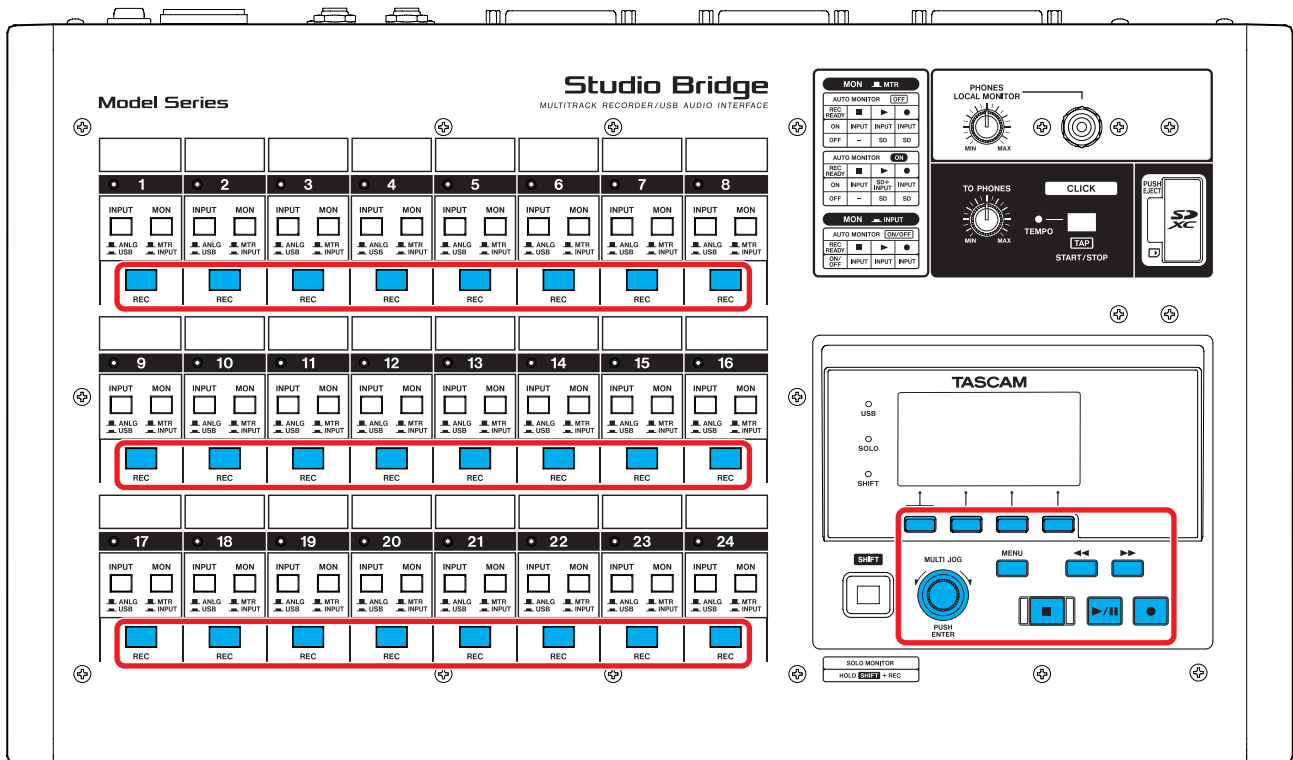
Studio Bridge本体の操作

DAWコントロールで使用する本体操作子

DAWコントロールモードで使用する本体の操作子は、以下の通りです。

- 下図の青色で示したボタン、ダイヤルの操作が有効

RECボタン	各トラックの REC READY を設定します。
MULTI JOGダイヤル	ロケート機能に対応します。
ファンクションボタン	DAW CONTROLLER 画面の表示内容によって、動作が異なります。 MENUボタンを押すと、ファンクションボタンの機能を切り換えることができます。



DAW CONTROLLER 画面・MARKER



(MCU - Liveを選択した場合の画面の例)

- **F2** **SET** ボタンを押すと、マーカーセットボタンとして機能します。
- **F3** **<<** ボタンまたは**F4** **>>** ボタンを押すと、マーカー移動ボタンとして機能します。

DAW CONTROLLER 画面・TRACK



(MCU - Liveを選択した場合の画面の例)

- **F2** **CYCL** ボタンを押すと、DAWのリピート機能を切り換えます。
- **F3** **<** ボタンまたは**F4** **>** ボタンを押すと、操作対象トラックを移動します。

各種DAWアプリケーションの設定

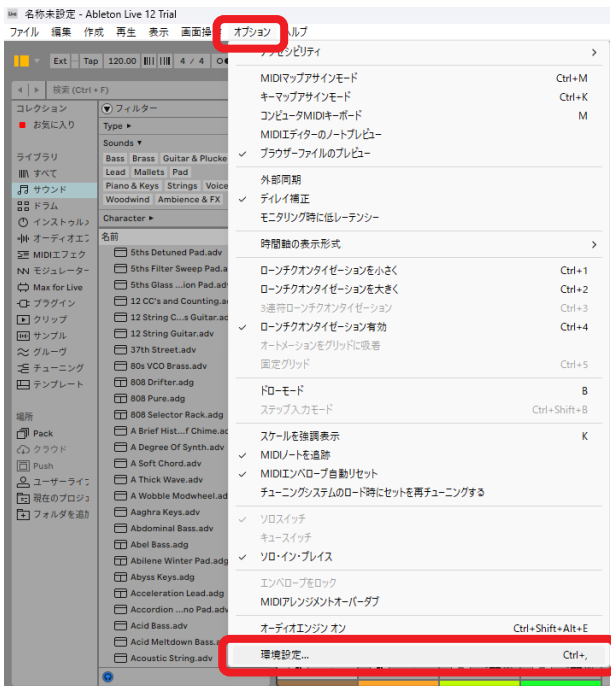
DAWアプリケーションからのメッセージを受信するために、先にStudio Bridge本体をDAWコントロールモードにしてからDAWアプリケーションの設定をしてください。

Live

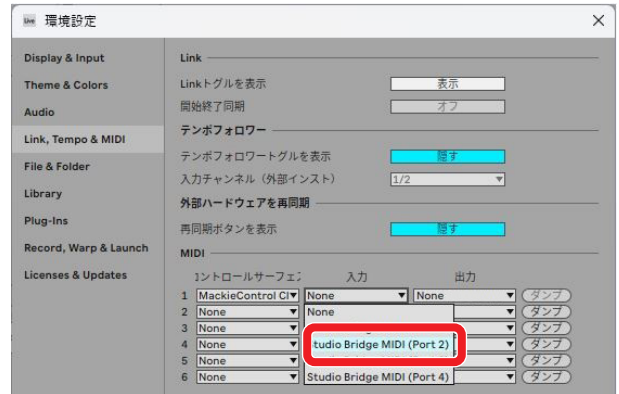
Windows

以下の画面は、Liveバージョン12.0.1の画面です。

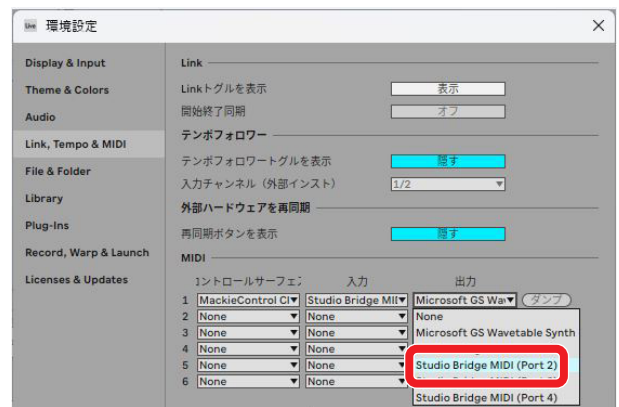
1. 「オプション」 → 「環境設定...」をクリックする。



3. 入力に「Studio Bridge MIDI (Port 2)」を設定する。



4. 出力に「Studio Bridge MIDI (Port 2)」を設定する。



Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

2. 「Link, TEMPO & MIDI」タブを選択し、コントロールサーフェスに「MackieControl」を設定する。



各種DAWアプリケーションの設定

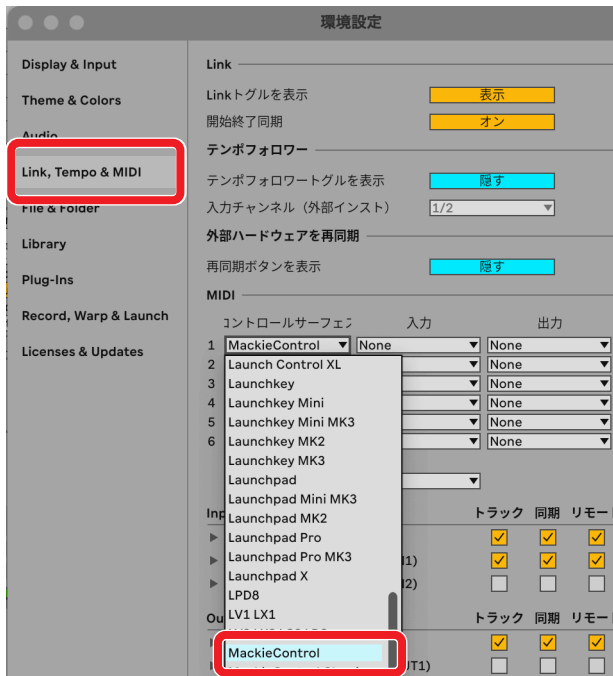
Mac

以下の画面は、Live バージョン12.0.10の画面です。

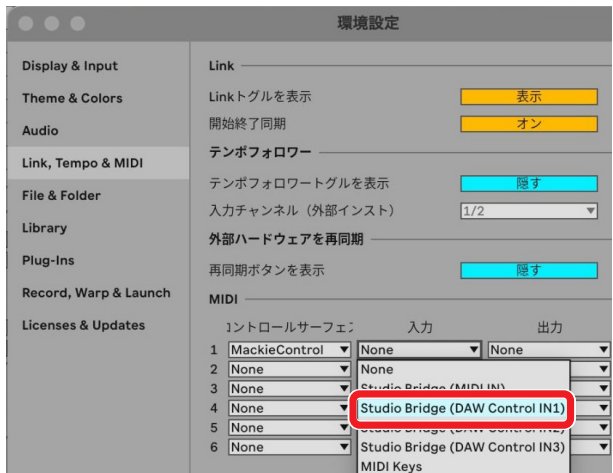
1. 「Live」 → 「環境設定...」をクリックする。



2. 「Link, TEMPO & MIDI」タブを選択し、コントロールサーフェスに「MackieControl」を設定する。



3. 入りに「Studio Bridge (DAW Control IN 1)」を設定する。



4. 出力に「Studio Bridge (DAW Control OUT 1)」を設定する。



Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- F2 **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F3 **<<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F4 **>>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F2 **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 **<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 **>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **<< / >>** ボタン
- **■** ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- **●** ボタン
- RECボタン (1-8)

メモ

8トラックのREC READYを操作することができます。9トラック以上のプロジェクトでREC READYを操作するには、本機のMENUボタンを押してTRACK画面を表示した後、F3 **<<<** ボタンまたはF4 **>>>** ボタンを押して対象とするトラックを切り替えてください。

Pro Tools

以下の画面は、Pro Tools12 Ultimate バージョン2024.6.0の画面です。

1. 「設定」 → 「ペリフェラル」をクリックする。



2. 「MIDIコントローラー」タブを選択し、タイプに「HUI」を設定する。



3. 受信元に「MIDIIN2 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control IN 1」を設定します。

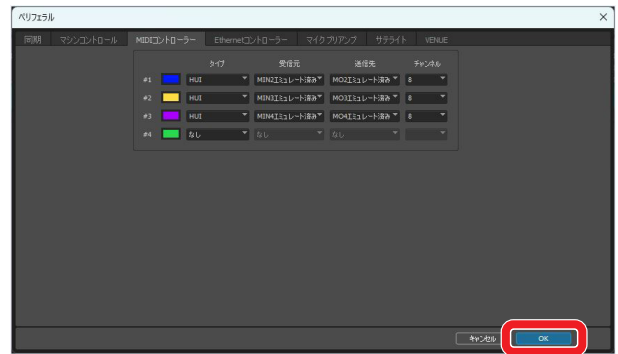


4. 送信先に「MIDIOUT2 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control OUT 1」を設定します。



5. #2の列も同じように、タイプに「HUI」、受信元に「MIDIIN3 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」、送信先に「MIDIOUT3 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
また#3の列も同じように、タイプに「HUI」、受信元に「MIDIIN4 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」、送信先に「MIDIOUT4 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。

6. 「OK」をクリックする。



Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

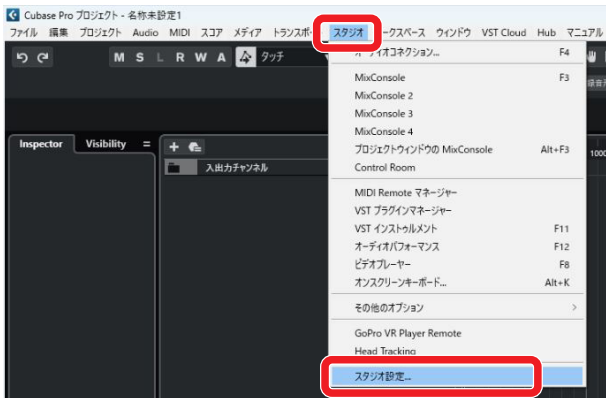
- F2 **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F2 **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 **←** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 **→** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- ◀ / ▶ ボタン
- ■ ボタン
- ▶ / || ボタン
- ● ボタン
- RECボタン (1-24)

各種DAWアプリケーションの設定

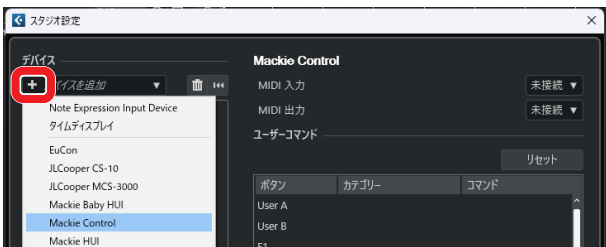
Cubase

以下の画面は、Cubase 13.0.41の画面です。

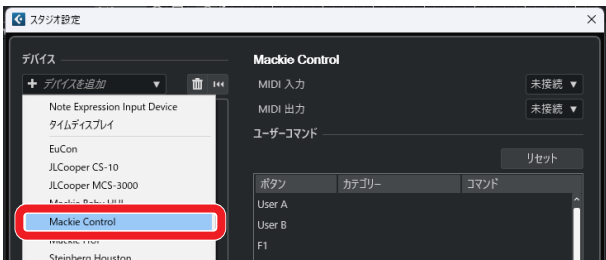
1. 「スタジオ」 → 「スタジオ設定」をクリックする。



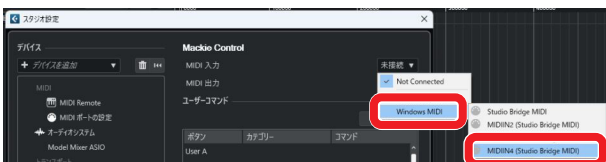
2. ウィンドウの左上にある「+」をクリックする。



3. 「Mackie Control」を選択する。



4. MIDI入力に「MIDIIN4 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control IN 3」を設定します。



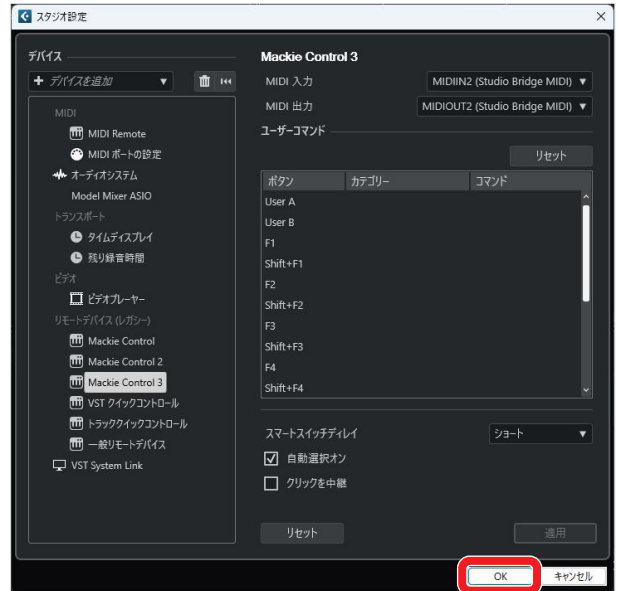
メモ

「MIDIIN4 (Studio Bridge MIDI)、Macの場合は「Studio Bridge DAW Control IN 3」から登録することに注意してください。

5. MIDI出力に「MIDIOUT4 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control OUT 3」を設定します。



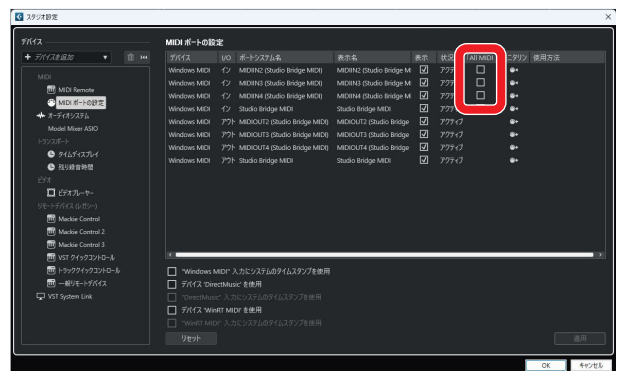
6. 再び手順2から同様に行い、MIDI入力に「MIDIIN3 (Studio Bridge MIDI)」、MIDI出力に「MIDIOUT3 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。
7. 同様に手順2から、MIDI入力に「MIDIIN2(Studio Bridge MIDI)」、MIDI出力に「MIDIOUT2(Studio Bridge MIDI)」を設定する。
8. 「OK」をクリックする。



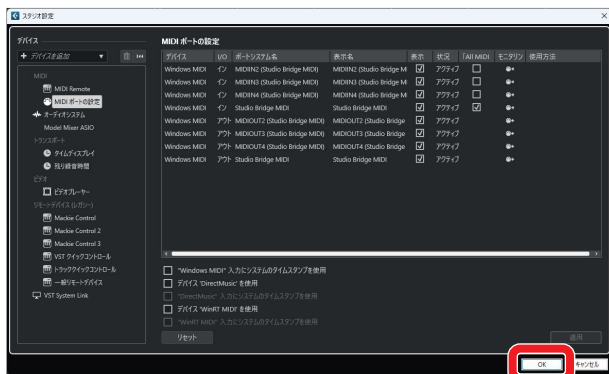
9. 「スタジオ設定」に戻りMIDIポートの設定をクリックする。



10. MIDIIN2 (Studio Bridge MIDI)、MIDIIN3 (Studio Bridge MIDI) およびMIDIIN4 (Studio Bridge MIDI) のチェックボックスのチェックをオフにする。



11. 「OK」をクリックする。



Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。
Cubaseが入っているパソコンの環境によっては、Cubaseの再起動が必要になる場合もあります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

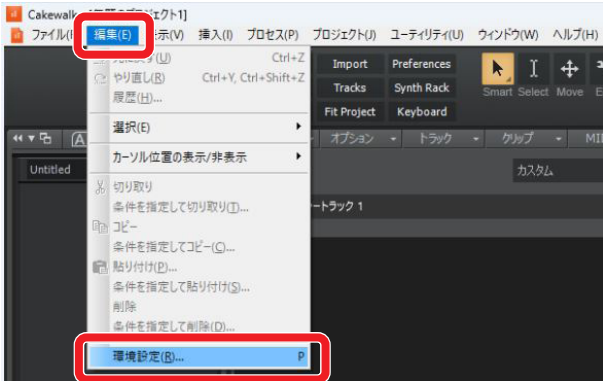
- **F2** **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F3** **<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F4** **>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F2** **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3** **<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4** **>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **<< / >>** ボタン
- ■ ボタン
- **> / ||** ボタン
- ● ボタン
- RECボタン (1-24)

各種DAWアプリケーションの設定

Cakewalk

以下の画面は、Cakewalk VERSION:2024.02(Build098) の画面です。

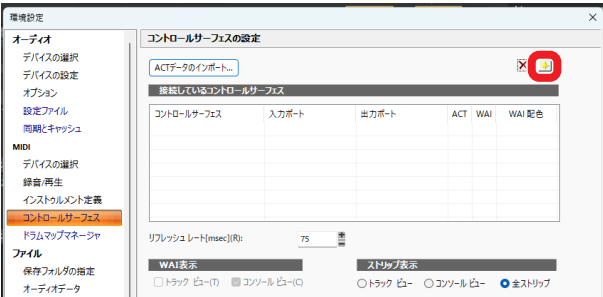
1. 「編集」 → 「環境選択」をクリックする。



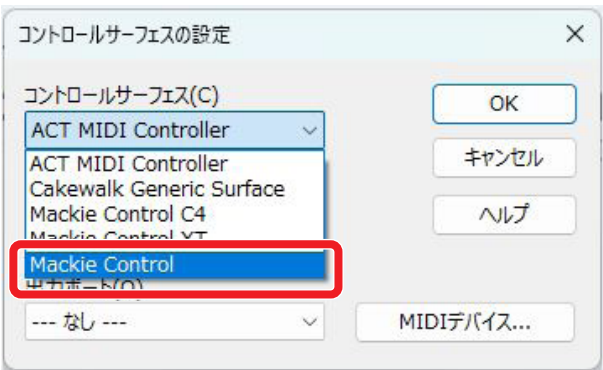
2. 「コントロールサーフェス」を選択する。



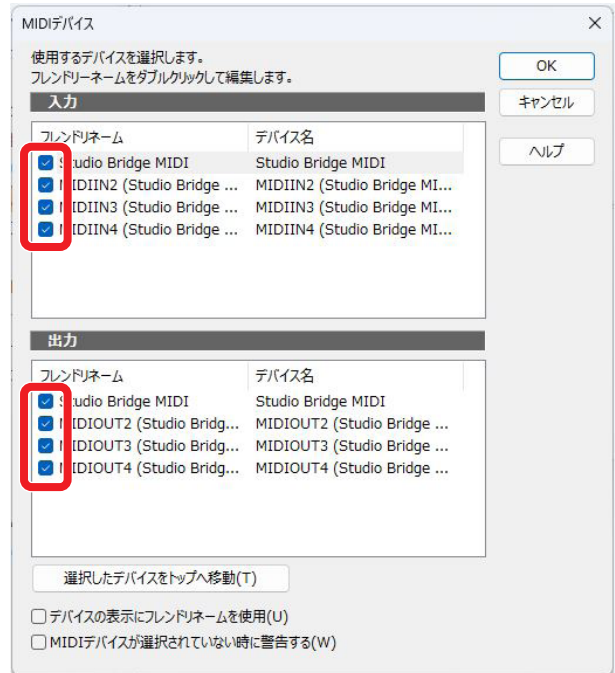
3. ウィンドウ右上の☆マークをクリックする。



4. コントロールサーフェスに「Mackie Control」を設定する。



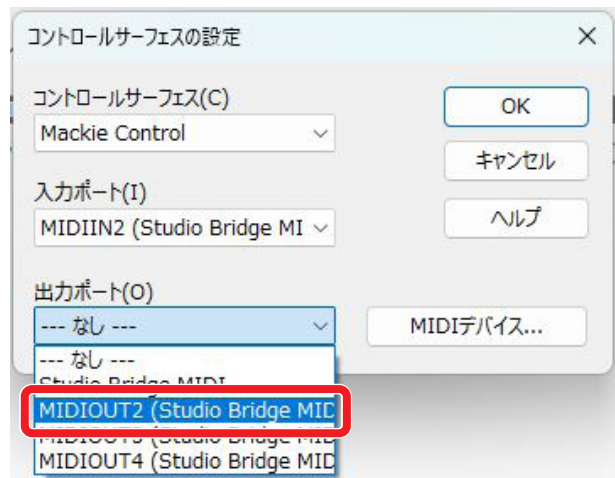
5. MIDIデバイスをクリックして、デバイス登録を行う。



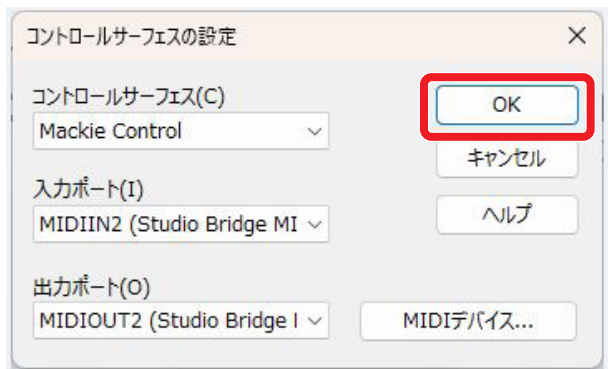
6. 入力ポートに「MIDIIN2 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。



7. 出力ポートに「MIDIOUT2 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。



8. 「OK」をクリックする。



9. 再び手順3から同様に行い、入力ポートに「MIDIIN3 (Studio Bridge MIDI)」、出力ポートに「MIDIOUT3 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。
10. また同じように、手順3から入力ポートに「MIDIIN 4 (Studio Bridge MIDI)」、出力ポートに「MIDIOUT4 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。
Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

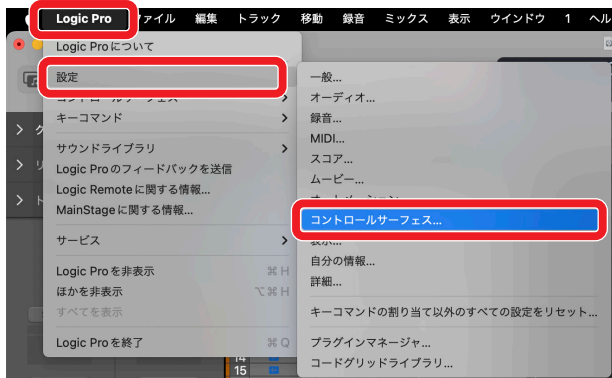
- F3 <<< ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F4 >>> ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F2 CYCL ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 < ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 > ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- << / >> ボタン
- ■ ボタン
- ▶ / || ボタン
- ● ボタン
- RECボタン (1-24)

各種DAWアプリケーションの設定

Logic Pro

以下の画面は、Logic Pro バージョン 11.0.0の画面です。

1. 「Logic Pro」→「設定」→「コントロールサーフェス...」をクリックする。



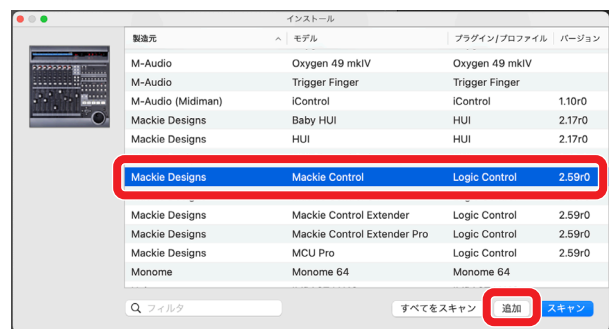
2. 「セットアップ...」をクリックする。



3. 「新規」 → 「インストール」をクリックする。



4. 「製造元: Mackie Designs / モデル: Mackie Control」を選択し、「追加」をクリックする。



5. デバイス: Mackie Control > の出力ポートに「Studio Bridge DAW Control OUT 1」を設定する。

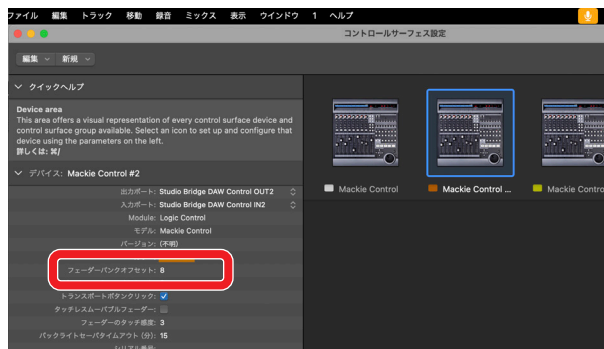


6. デバイス: Mackie Control > の入力ポートに「Studio Bridge DAW Control IN 1」を設定する。



7. 再び手順4から同様に行い、出力ポートに「Studio Bridge DAW Control OUT2」、入力ポートに「Studio Bridge DAW Control IN2」を設定する。

8. 手順7で登録したMackie Control #2にはフェーダーバンクオフセットの項目に「8」を設定します。












9. 再び手順4から同様に行い、出力ポートに「Studio Bridge DAW Control OUT3」、入力ポートに「Studio Bridge DAW Control IN3」を設定する。

10. 手順9で登録したMackie Control #3にはフェーダーバンクオフセットの項目に「16」を設定します。Studio Bridge本体の ■ ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。



コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

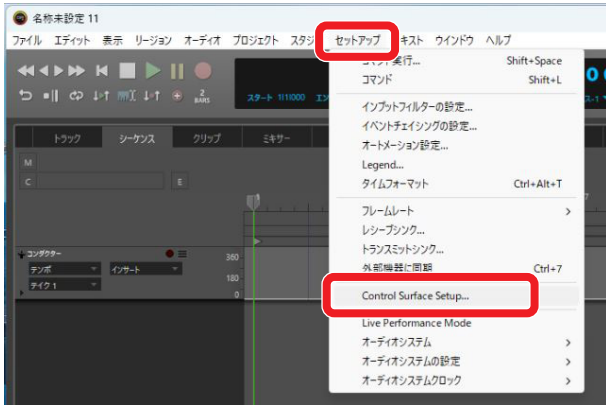
- **F2**  ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3**  ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4**  ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
-  /  ボタン
-  ボタン
-  /  ボタン
-  ボタン
- RECボタン (1-24)

各種DAWアプリケーションの設定

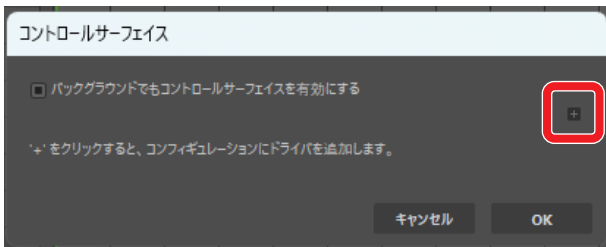
DP (Digital Performer)

以下の画面は、Digital Performer 11.32の画面です。

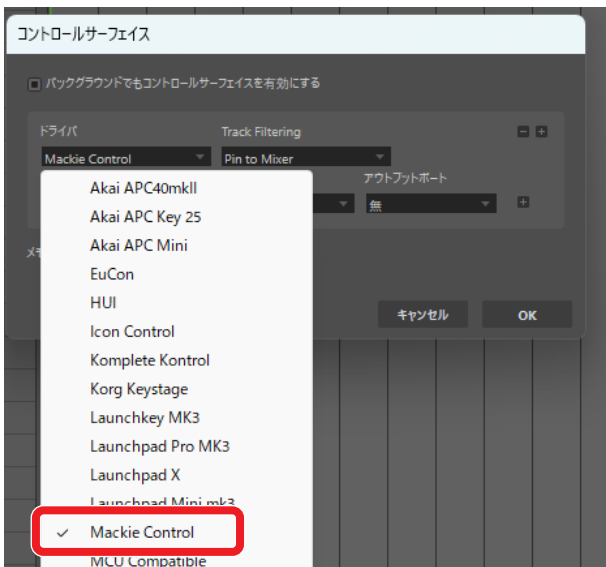
1. 「セットアップ」→「コントロールサーフェイスの設定」をクリックする。



2. ウィンドウ右側にある「+」をクリックする。



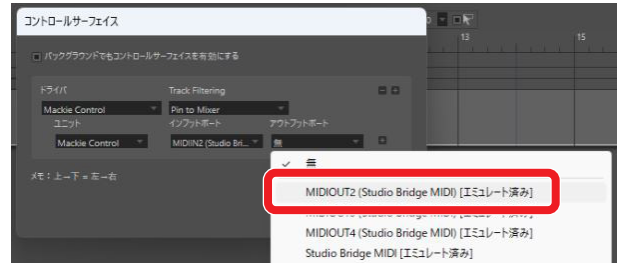
3. ユニットの「Mackie Control」を設定する。



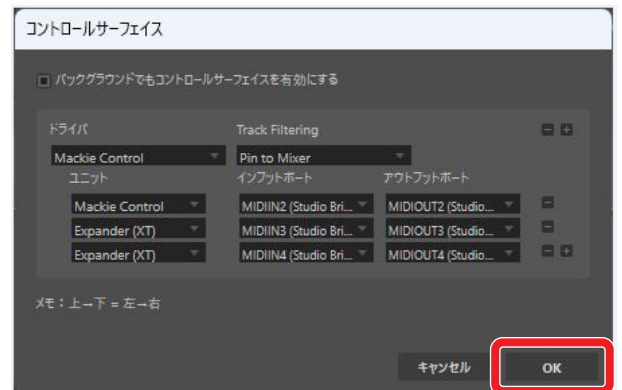
4. インポートポートに「MIDIIN2 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control IN 1」を設定します。



5. アウトポートポートに「MIDIOUT2 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control OUT 1」を設定します。



6. 「OK」をクリックする。



7. アウトポートポート項目の右側にある[+]をクリックして「Expander (XT)」ユニットを追加する。
8. インポートポートに「MIDIIN3 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」、アウトポートポートに「MIDIOUT3 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
9. 再び、アウトポートポート項目の右側にある[+]をクリックして「Expander (XT)」ユニットを追加する。
10. インポートポートに「MIDIIN4 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」、アウトポートポートに「MIDIOUT4 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- F3 <<< ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F4 >>> ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F3 <= ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 => ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- << / >> ボタン
- ■ ボタン
- ▶ / || ボタン
- ● ボタン
- RECボタン (1-24)

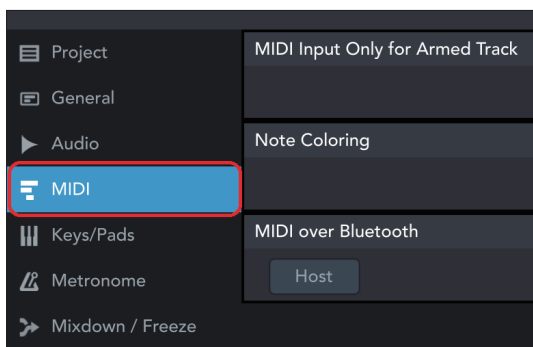
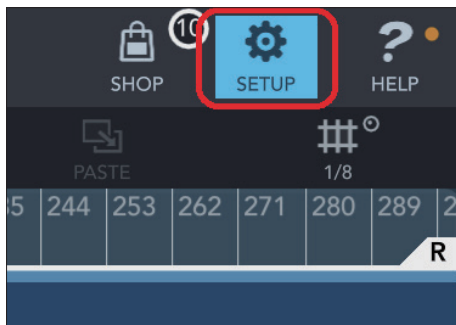
Cubasis

以下の画面は、Cubasis 3.3の画面です。

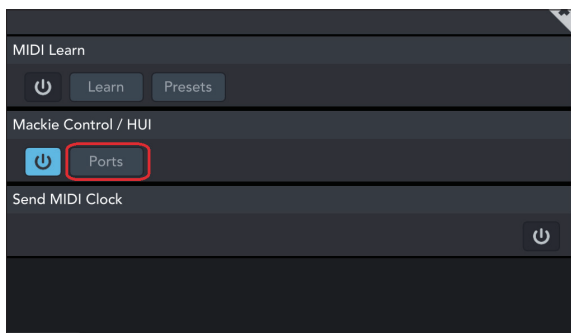
注意

Cubasis 3.3以降が対象です。

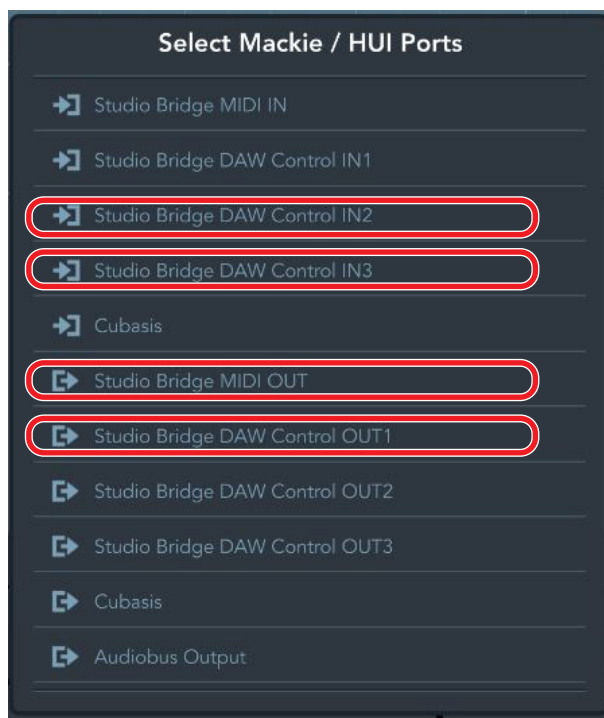
1. 「SETUP」 → 「MIDI」を選ぶ。



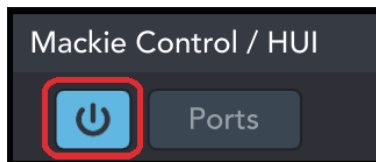
2. ウィンドウにある「Mackie Control/HUI」の「Ports」をクリックする。



3. Select Mackie / HUI Portsウィンドウで「Studio Bridge DAW Control IN 1」、「Studio Bridge DAW Control IN 2」、「Studio Bridge DAW Control OUT 1」、「Studio Bridge DAW Control OUT 2」をそれぞれクリックして「Mackie(1-8)」、「Mackie(9-16)」を設定する。



4. 赤枠内のアイコンを「ON」にしておく。



Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

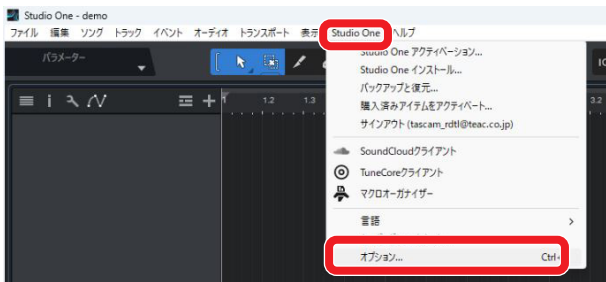
- F2 **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 **←** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 **⇒** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **◀ / ▶** ボタン
- **■** ボタン
- **▶ / ||** ボタン
- **●** ボタン
- RECボタン (1-24)

各種DAWアプリケーションの設定

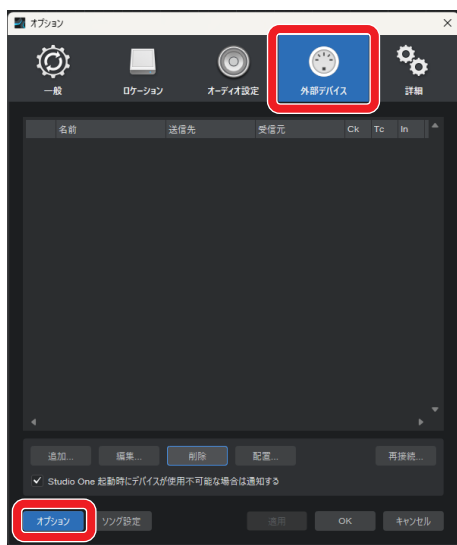
Studio One

以下の画面は、Studio One 6.6.1の画面です。

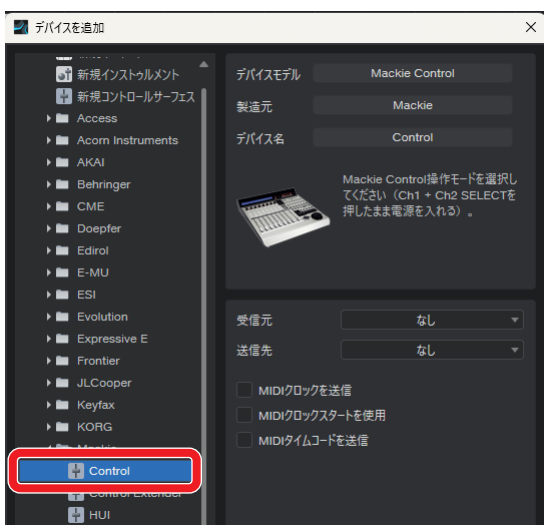
1. 「Studio One」 → 「オプション...」をクリックする。



2. ウィンドウ上部にある「外部デバイス」アイコンへ移動し、「オプション」をクリックする。



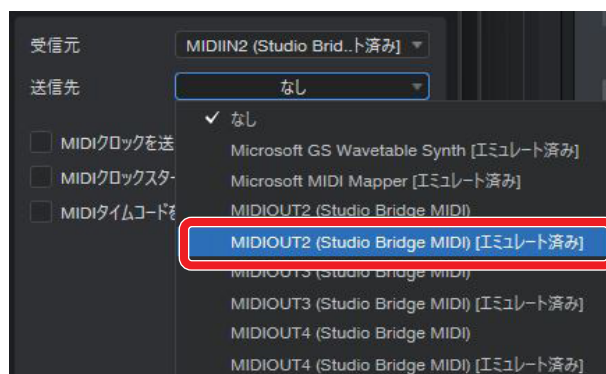
3. 「デバイスを追加」 → 「Mackie」 → 「Control」を開く。



4. 受信元に「MIDIIN2 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control IN 1」を設定します。

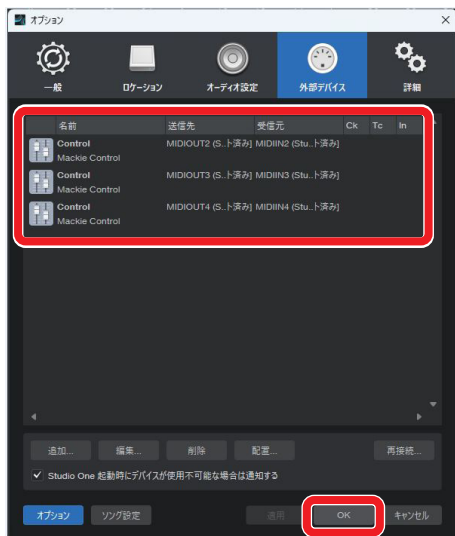


5. 送信先に「MIDIOUT2 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control OUT 1」を設定します。



6. 手順3から同じように、受信元に「MIDIIN3 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control IN 2」を設定します。
7. 送信先に「MIDIOUT3 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control OUT 2」を設定します。
8. 再び、手順3から同じように、受信元に「MIDIIN4 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control IN 3」を設定します。
9. 送信先に「MIDIOUT4 (Studio Bridge MIDI) [エミュレート済み]」を設定する。
Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control OUT 3」を設定します。

10. 「OK」をクリックする。



Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- **F2** **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F3** **<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F4** **>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- **F2** **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F3** **<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- **F4** **>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- **<< / >>** ボタン
- ■ ボタン
- **> / ||** ボタン
- ● ボタン
- RECボタン (1-8)

メモ

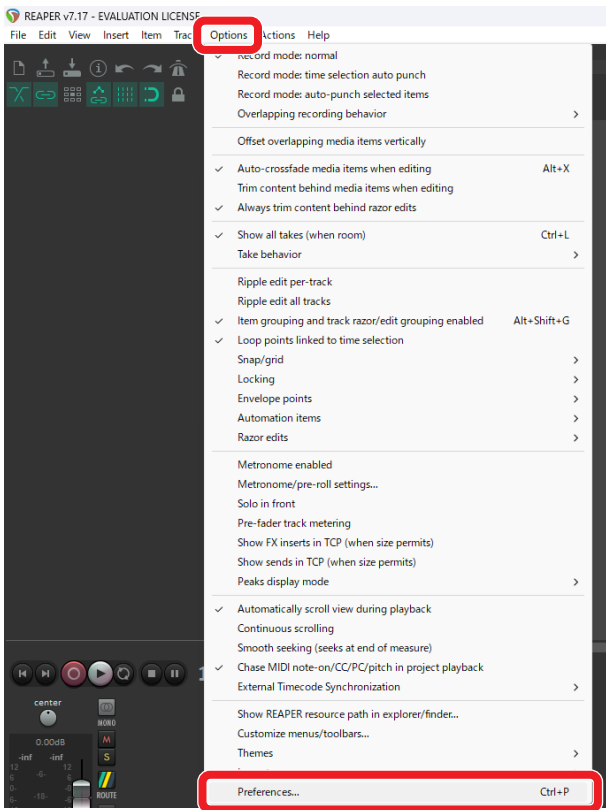
8トラックのREC READYを操作することができます。9トラック以上のプロジェクトのREC READYを操作するには、本機のMENUボタンを押してTRACK画面を表示した後、**F3** **<** ボタンまたは**F4** **>** ボタンを押して対象とするトラックを切り替えてください。

各種DAWアプリケーションの設定

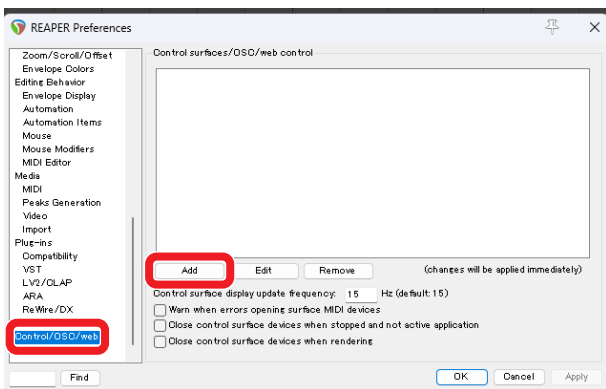
REAPER

以下の画面は、REAPER June 26 2024の画面です。

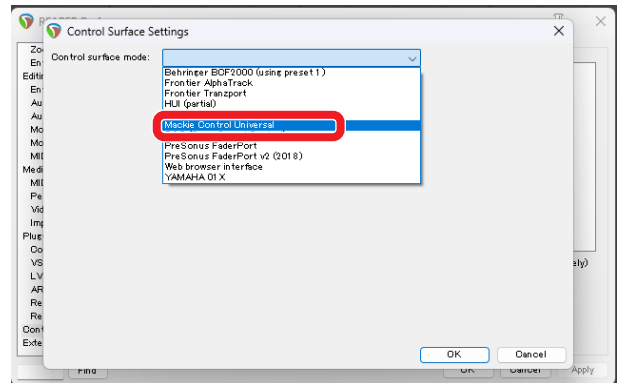
1. 「Options」 → 「Preferences...」をクリックする。



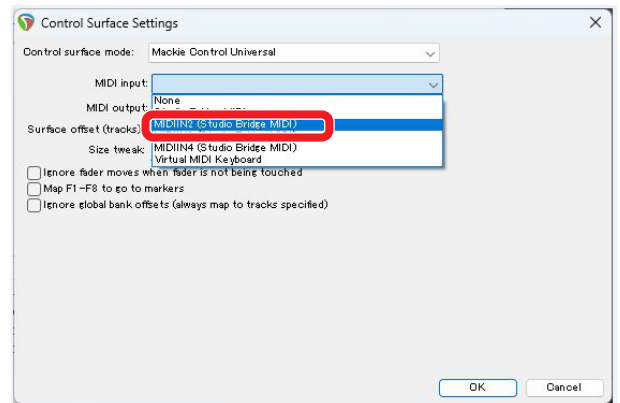
2. ウィンドウ下にある「Control/OSC/web」 → 「Add」をクリックする。



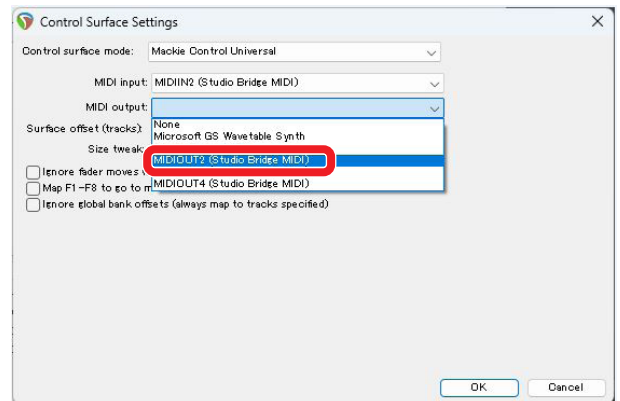
3. Control surface modeに「Mackie Control Universal」を選択しOKする。



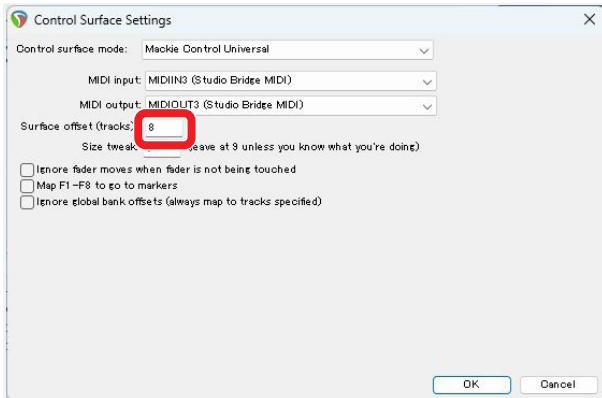
4. MIDIインプットに「MIDIIN2 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。Surface offset(tracks)は0を入力する。Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control IN 1」を設定します。



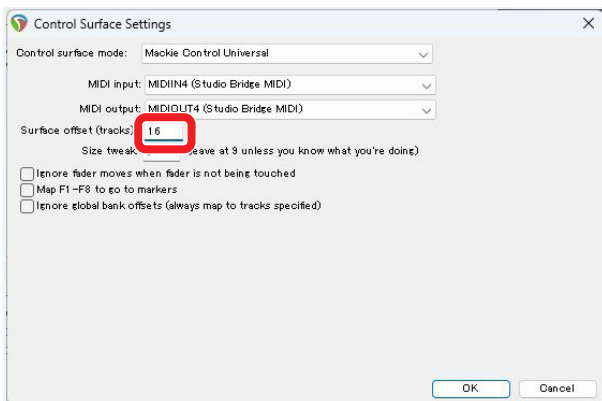
5. MIDIアウトに「MIDIOUT2 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。Macの場合は、「Studio Bridge DAW Control OUT 1」を設定します。



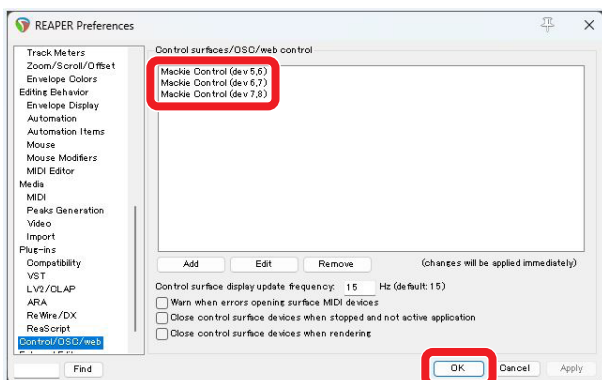
6. 再び手順2から同様に行い、MIDI inputに「MIDIIN3 (Studio Bridge MIDI)」、MIDI outputに「MIDIOUT3 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。
Surface offset(tracks) は8を入力する。



7. 同じように手順2から、MIDI inputに「MIDIIN4 (Studio Bridge MIDI)」、MIDI outputに「MIDIOUT4 (Studio Bridge MIDI)」を設定する。
Surface offset(tracks) は16を入力する。



8. 「OK」をクリックする。



Studio Bridge本体の■ボタンが点灯し、リモートコントロールが可能になります。

コントロールできる操作子

以下のStudio Bridge本体の操作子を使って、DAWアプリケーションを操作することができます。

- F2 **SET** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F3 **<<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F4 **>>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・MARKER表示中)
- F2 **CYCL** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F3 **<** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- F4 **>** ボタン (DAW CONTROLLER画面・TRACK表示中)
- MULTI JOGダイヤル (ロケート機能)
- ◀ / ▶ ボタン
- ■ ボタン
- ▶ / || ボタン
- ● ボタン
- RECボタン (1-24)

MIDIインプリメンテーションチャート

MIDIインプリメンテーションチャート DAW Controlポート

機能		送信	受信	備考
ベーシック・チャンネル	電源オン時	×	×	
	設定可能	×	×	
モード	電源オン時	×	×	
	メッセージ	×	×	
	代用	*****		
ノート・ナンバー	音域	○	○	HUI Mode : Active Sensing
	音域	○	○	Mackie Ctrl Mode : Key、LED
ベロシティ	ノート・オン	○	○	HUI Mode : Active Sensing
	ノート・オフ	×	×	
	ノート・オン	○	○	Mackie Ctrl Mode : Key、LED
	ノート・オフ	×	×	
アフター・タッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベント		○	×	Mackie Ctrl Mode : Fader
コントロール・チェンジ		○	○	HUI Mode : LED、Switch Ctrl
		○	○	Mackie Ctrl Mode : Encoder
プログラム・チェンジ		×	×	
	設定可能範囲#	*****	*****	
システム・エクスクルーシブ		○	○	Mackie Ctrl Mode
システム・コモン	ソング・ポジション	×	×	
	ソング・セレクト	×	×	
	クォーター・フレーム	×	×	
	チューン	×	×	
システム・リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカル・オン/オフ	×	×	
	オール・ノート・オフ	×	×	
	アクティブ・センス	×	×	
	リセット	×	×	

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～12:00 / 13:00～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。